

# 森林情報の公開に向けた取組

## 1 森林情報に対する関心の高まり

林野庁では、間伐や路網整備などの森林施業や木材の生産・流通を効率化し、収益性の高い林業を実現するとともに、効果的な治山事業の実施など森林保全を推進するため、その情報基盤となる森林情報のデジタル化を推進しています。都道府県等によってデジタル化された高精度な森林情報は、従来、管内の市町村や森林・林業に携わる民間事業者などの関係者の間のみで共有され、林業の現場において活用されてきました。一方、近年では、大型木材加工施設の立地などにより、複数の都道府県にまたがった木材の生産・流通が進むなど、森林経営活動に必要な情報が広域化しているほか、カーボンニュートラルの実現や生物多様性の保全など昨今の国際的な動向を契機として、森林・林業と深い関わりがなかった幅広い産業分野の企業においても我が国の森林への関心が高まっていることを背景に、民間企業から、北欧などの林業先進国における森林情報の公開の取組事例を踏まえつつ、我が国においても高精度な森林情報の公開を望む声が多くなっています。

## 2 森林情報の公開状況

民有林の森林情報の把握は、主に都道府県が行っており、その情報の公開についても都道府県等の対応に委ねられてきました。例えば、北海道や栃木県、静岡県、和歌山県、山口県などでは、独自の公開サイトを構築し、森林情報以外にも含め、都道府県が保有する行政情報の公開に精力的に取り組まれています(図1)。他方で、森林情報の公開への対応状況は、データが数テラバイトに及ぶなど大容量であることの取扱いの難しさなども相まって、地域によって取組の程度に差がある状況です。このため、森林の整備や保全の基礎となる一定の情報について、全国的に公開していくことを実現するため、林野庁においてその手法を検討しています。



山口県オープンデータカタログサイト

データセット検索



北海道 Hokkaido Open Data Portal  
オープンデータポータル

Open Data  
Berry TOCHIGI  
オープンデータ・ベリーとちぎ

ふじのくに オープンデータカタログ  
Open Data Catalog Shizuoka

和歌山県 Wakayama Open Data  
オープンデータカタログサイト

図1 都道府県による独自サイトの構築例

### 3 林野庁における取組状況

全国的な森林情報の公開を進めるためには、情報を保有する都道府県等の理解を得て取り組んでいく必要があります。こ

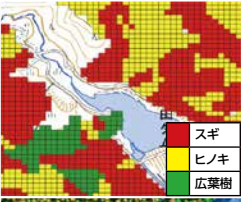
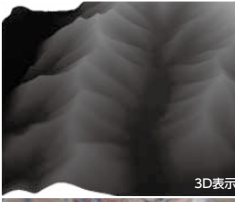
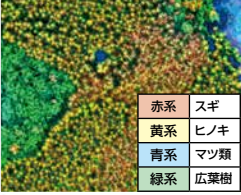
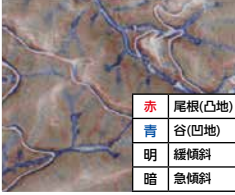
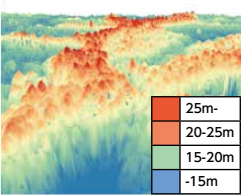
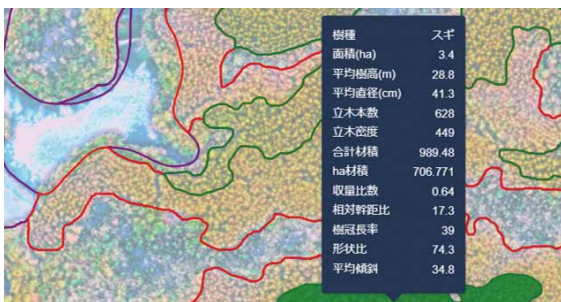
種類	できること	イメージ図	種類	できること	イメージ図
森林資源量集計メッシュ	400mごとに代表樹種や立木本数、樹高、材積等が把握できる。		標高モデル	地形の特徴を把握したり、森林の3D表示に使える。	
林相識別図	色や形状の違いで樹種や立木の大きさを見分けることができる。		微地形図	地形の特徴を分かりやすく示すことができる。	
樹冠高モデル	樹高を把握したり、森林の3D表示に使える。				

図2 公開したデータのイメージ



現在もG空間情報センターにおいて公開継続中です。ご利用ください。



のため、その準備として、公開する森林情報の整備や、情報公開用のサイトの運用に必要な技術的知見を得るとともに、公開する森林情報に対する利用者ニーズを把握する取組を開始しました。令和5年度は、全国的に公開が進んでい

ないものの、民間企業から公開のニーズが高い航空レーザー計測により整備した地形や森林資源に関する高精度な森林情報など地理的・社会的条件も考慮しつつ、栃木県、兵庫県及び高知県の3県において、行政機関保有情報の公開を担うG空間情報センターを利用し、一般公開する実証を行いました(図2)。この結果、公開を行った4か月間で、公開地域以外を含め全国約3000名の方にデータを利用してもらうことができ、さ

### 4 おわりに

らには民間事業者による新たなサービス提供の事例もみられました(図3)。

令和6年度は、都道府県の協力の下、高精度な森林情報を公開する地域の拡大に取り組むとともに、引き続き、民間事業者と意見交換をしながら、森林の整備や保全の基礎となる情報について、利用者ニーズに応える形で全国的に公開するための手法を検討していきます。

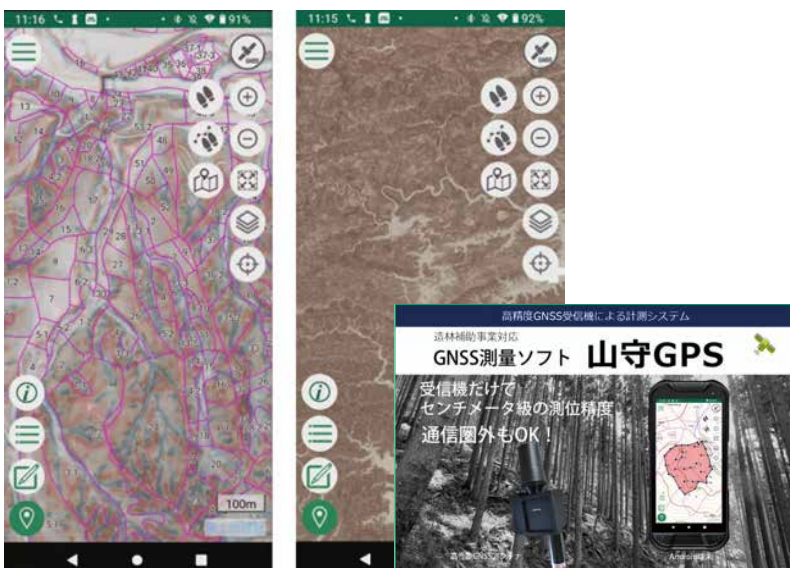
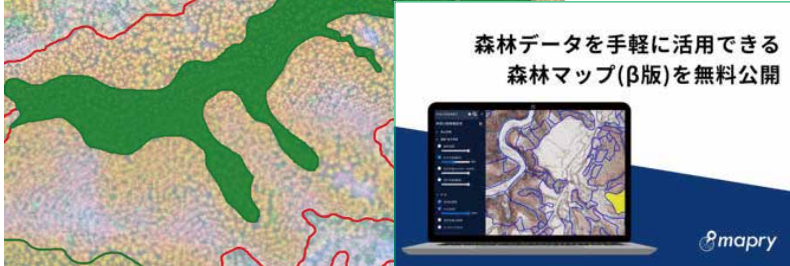


図3 民間事業者によるサービス事例